

以上でございます。

○委員長（平嶋正一君） ほかにございませんでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（平嶋正一君） それでは質疑を打ち切ります。ありがとうございました。

続きまして、県営高尾川・県営鷺田川改修事業の進捗について、お願いいたします。  
課長。

○土木課長（山田 学君） では、前のスクリーンで御説明させていただきます。

それでは、県営高尾川・県営鷺田川改修事業の進捗について報告いたします。

まず、高尾川床上浸水対策特別緊急事業の工事進捗についてです。この事業は、高尾川の地下約10メートル下に、内径5メートルの地下河川を約1キロメートルにわたって整備するものです。

続きまして、地下河川築造工事につきましては、6月16日時点で発進立坑から県道紫橋付近の約190メートルまでトンネル掘削が進んでおります。ここですね。

今後の予定としましては、シールド工事終了後にスチームフォールと呼ばれる円柱状の型枠を設置し、コンクリートでトンネルの内側を覆う工事が行われます。現在型枠の製作を進めているところでございます。

次は、地下河川の出口となる流出施設についてです。地下河川に入った水を到達立坑から鷺田川へ合流させるための施設で、今年度工事に着手する予定でございます。

こちらは流出施設工事箇所状況でございます。

次は、地下河川の入り口となる流入施設についてです。洪水が発生した際、高尾川から地下河川に水を分流して流入させる施設で、地下河川に流入が可能になる工事に着手する予定となっております。この赤い部分ですね。

続きまして、鷺田川の河川改修工事について報告いたします。今年度は用地買収が完了したため、物件の移転完了後にバイパス部の護岸工事に着手する予定でございます。今現在はこういった水の流れですが、これがこうなるということですね。

続きまして、高尾川の河川改修工事について報告いたします。

今年度は市道紫橋上流部の護岸工事に着手する予定となっております。川幅を最大で約2メートル広げ、堤防高も最大で約1メートル高くなります。この部分ですね。

以上で土木課の報告を終わります。ありがとうございました。

○委員長（平嶋正一君） ただいま執行部からの報告を受けましたが、質疑のある方はございませんでしょうか。

田中議員。

○委員（田中 允君） これが完成したら、このダムが完成したら、二日市中学校の運動場の下やらにつくった地下ダムは、もうその必要性が全くなくなるのかな。

○委員長（平嶋正一君） 山田課長。

○土木課長（山田 学君） このトンネル工事が完成すると、平成26年の8・22の大雨に対応できるぐらいの能力が発揮されるものと聞いております。

○委員長（平嶋正一君） ほかにございませんでしょうか。

辻本議員。

○委員（辻本美恵子君） 今、平成26年8月22日の雨に対応すると言われたけれども、平成26年以降、かなり雨が大量に降るようになってきているので、最近の状況をどういうふうに判断されるのか。

○委員長（平嶋正一君） 山田課長。

○土木課長（山田 学君） 雨の降り方、例えば、平成26年の8・22と去年の雨について例えば比較したときに、いろいろ降り方等ありますけども、状況的には26年の8・22の雨量のほうが多いと認識しております。

○委員長（平嶋正一君） ほかにございませんでしょうか。

大石議員。

○委員（大石 泰君） 高尾川の改修事業で、地下トンネルの問題じゃなくて、橋のところが、何とか橋、あそこら辺は何か水が右のほうに流れていくと。中央通りから入って、左側はオウガさん、右にがあつと下がとるやろう。あっちのほうに落ちこんでいって、あの辺が水が余計来よると。その話を聞いてあるかどうか知らないけど、その対策を考えると、あの辺の人たちが困るとるというような話をちょっと聞きました。そういうのは県の事業かもしれんけど、市のほうで何らかの形を考えていかんと。大分急やもんね。あそこが高くなった中で、こっちが高いけん、水が右側のほうにぎつと流れていきよる。それで影響が出よるような話を聞いたことがあるんですけど、その辺を調査して、何らかの対策を考えないかんちやなかろうかと、立派なもんができたとしても、その辺も考えとかならんちやないかなと思うんですが、その辺も調査してもらえんかなと思います。

○委員長（平嶋正一君） 意見でいいですか。

○委員（大石 泰君） はい、意見です。

○委員長（平嶋正一君） ほかにございませんでしょうか。

副委員長。

○副委員長（波多江祐介君） 期成会の総会に参加させていただきましたけども、当時140メートルだったと思いますけれど、今回190メートル進んでいるということで、工事全体では順調に進んでいると理解しよろしいでしょうか。

○委員長（平嶋正一君） 山田課長。

○土木課長（山田 学君） そのように聞いております。

○委員長（平嶋正一君） ほかにございませんでしょうか。

じゃあ、1点、私のほうから。その掘ったトンネルの土砂はどこに搬出してあるんですか。どこに持って行ってあるんですか。

部長。

○建設部長（森下義明君） 申しわけございませんが、その搬出場所までは私どもでは把握しておりません。

○委員長（平嶋正一君） ほかにございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（平嶋正一君） 質疑を打ち切ります。ありがとうございました。

いいですか。続けますよ。

では、引き続き、所管事務調査、J R二日市駅地区整備事業の現状について報告をお願いいたします。

山田課長。

○土木課長（山田 学君） 現状について報告させていただきます。

現在、基本設計を発注しております。J Rと協議を行いながらJ R二日市駅西口乗降口の設置案の検討を進めているところでございます。

以上でございます。

○委員長（平嶋正一君） 済いません、ちょっとばらついたもので、もう1回、説明をお願いします。

○土木課長（山田 学君） 現在、基本設計を発注しておるところでございます。J Rと協議を行いながら乗降口の設置案の検討を進めているところです。

○委員長（平嶋正一君） ただいま報告がございましたが、質疑のある方はございませんでしょうか。

坂口委員。

○委員（坂口勝彦君） 以前、私も署名をさせてもらったんですけど、去年の6月にJ Rのほうに署名を持っていかれたとありました。それで、その後、J Rとは定期的にしっか